

目の健康向上へ「眼科医療政策推進議連」設立 自民

2015年3月5日 23:11

既にスクラップ済みです。

目の健康・福祉を向上させ、国民の健康寿命延伸に貢献しようと、自民党所属の国会議員が「眼科医療政策推進議員連盟」を設立することを決め、5日に衆院第1議員会館で設立総会を開いた。

同議連は、日本眼科医会や日本眼科学会、日本視能訓練士協会などと連携しつつ、眼科医療の充実と発展を目指す方針を掲げており、設立総会には日本眼科医会の高野繁会長、日本眼科学会の石橋達朗理事長、日本視能訓練士協会の臼井千恵会長らが出席した。



挨拶する田村前厚生労働相 = 5日、衆院第1議員会館

その中で高野会長は、2007年時点で視覚障害のある患者は国内に約164万人おり、年間約8兆8000億円もの社会的コストがかかっていると説明。30年には患者が200万人を超え、単純計算で10兆円超になるという見通しを示した。さらに視覚障害によるそうした社会的な負担を減らすため、成人を対象にした公的な「目の健診プログラム」を創設するよう要望した。



設立総会に出席した高野会長（左）と石橋理事長

目の健診プログラムについては、同席した厚生労働省側が「対象疾患や検査法をどうするのか検討が必要だと考えている。これらが定まった段階で、どういう費用対効果があるか、患者に利益があるか検討する必要がある」との考えを説明した。

設立総会で会長に選ばれた田村憲久前厚生労働相は「目は非常に重要。これ（健診プログラム）によって目の障害が防げるのであれば、大きな意味がある」と強調。一方で「（目の健診プログラムを創設するには）一定のエビデンスが必要なのだと思う」と指摘

し、厚労省に対して日本眼科医会などと検討を重ねるよう求めた。

このほか同議連の幹事長に金子恭之衆院議員、事務局長に井上信治衆院議員を充てる役員人事が了承された。同日時点の入会者は衆参両院合わせて85人。

【国会・政党】の最新記事

[養成施設ルートへの「国試実施は必要」](#) 自民 P T で介護福祉士養成施設協 (2015年3月5日 22:51)

[海外からの介護人材確保「魅力的な制度設計を」](#) 自民・大沼氏 (2015年3月5日 21:19)

[海外の財政再建事例などでヒアリング](#) 自民・財政再建特命委 (2015年3月5日 21:11) 

[終末期医療の在り方「国民の意識に沿った検討を」](#) 塩崎厚労相 (2015年3月5日 20:54)

[毎年改定は無理と理解? 「調べてないので分からない」](#) 麻生財務相、伊吹氏発言受け (2015年3月5日 19:23)